

石橋中学校 臨時学校運営協議会議事録

令和2年7月27日(月) 14:00～

記録 教頭

1 校長あいさつ

要旨

- ①子ども達のために大切なのは環境だと考えます。
- ②今回は西本さん・藤沢さんと話をし、アトリウムの鳥糞清掃と放課後の特別教室の消毒のボランティアを募集したらどうかという話になり、今回の臨時学校運営協議会を開催することになりました。
- ③学校運営協議会の皆様のご協力をお願いします。

2 西本委員より今回の経緯とボランティア募集について説明

- ①石中の地域連携教員の鯨先生から、石橋中でアトリウムの鳥糞清掃と放課後の消毒が大変困っている、何とかならないかというご相談があった。
- ②学校運営協議会の会長の藤沢さんに相談したら、学校へ行って話を聴くことになった。校長先生と教頭先生から現状を聴いたところ、大変困っているということだったので、学校運営協議会を開いて、ボランティアについて検討会を開きましょうということになり、今回の開催となりました。
- ③実施時間について
鳥糞清掃は午前中9:00～12:00
消毒は放課後 16:00～16:30
- ④募集についての検討事項について
 - ・どうやって告知するか
 - ・告知方法はどうか
 - ・主催形態はどうか

3 協議

(司会 藤沢委員)

- ・アトリウムは大変広く清掃も大変な状況。鳥糞清掃は教頭先生が毎日1時間一人でやっている。
- ・PTAは保護者は働いてなかなか集まらない。
- ・老人会となると体力的な心配がある。
- ・学校運営協議会として動くのが良いと思う。

(西本委員)

- ・小学校でも消毒ボランティアを実施している。場所は教室・手すり・トイレなど。

(池上委員)

- ・網を張ることはできないのか。何か方法はあるのではないかと。

(校長)

- ・構造上網を付けることは難しいと業者の方に言われた。

(小島委員)

・網を付けなければこの問題はずっと続くことになる。今回のリニューアルで鳥問題も解決すると市民は思っていた。石橋中はずっと鳥糞問題で悩んでいたのにリニューアルしても解決しないのですか。一番大切なのは生徒や先生の健康問題である。徹底的に網を張るべき。

(須藤委員)

・以前20年前くらいは、東西に網が張ってあったこともある。

(中川委員)

・小島さんと同意見である。業者に依頼すればできないことはないはず。私も今回のリニューアルで当然網を張ると思っていた。

(須藤委員)

・基本はPTAかなと思う。そして、私たちも協力する形が良いのではないか。PTA会長からも保護者に呼びかけてもらおうとよい。私も人を集めることに協力したい。コロナもいつまで続くか分からない状況で大変である。

(校長)

・無理のない範囲で、できることからやっていきたい。

(中川委員)

・古山小でもボランティアを募集した。そのうち石小でも回覧板で募集した。今この話のようにこれからずっと続くとなると、基本的には生徒が消毒をしてから帰るのが良いと思う。鳥糞についてはとび職の人をお願いして、網を掛けることはできないだろうか。

(小島委員)

・消毒は生徒にやらせた方が意識が高まると思う。自分で使った場所は自分で消毒させることが大切ではないか。

(大塩委員)

・石中の鳥糞は本当に歴任教頭先生が苦勞されているのでなんとかしたいが、消毒は生徒でもできるのではないか。

(藤沢委員)

・鳥対策の研究をすると良いと思う。石中でずっと30年も続いている問題が未だに解決していない。この問題を解決するためにも、しっかりと研究して引き継いでいきたい。過去にも何度も議会でハト糞問題は話があったはず。議事録なども見てみたい。しかし、とりあえず現段階では、ボランティアを募集して乗り越えようということです。

(大塩委員)

・さしあたってボランティアの募集をするということでもいいですか。どの学校も生徒の下校後に先生が消毒をしているという話だがそれは本当に大変。

(校長)

・学校によってはトイレは教員がやる所もあるが、石中では持続可能な方法として、ビニールの手袋や消毒を徹底した上で、生徒がトイレ掃除を行っている。

(柏崎委員)

- ・生徒と先生がやる所はここ。ボランティアはここだけとやる場所をはっきりと分けるとよい。

(校長)

- ・生徒にもやれる所はやらせている。これからは、机・椅子は消毒ペーパーで生徒が自分たちでやることにした。今回は北校舎の特別教室のボランティアをお願いしたい。

(柏崎委員)

- ・鳥の糞問題はずっと長く市でも取り組んでいる。なくすのは厳しいので、とりあえずできることからやるしかない。学校からも市に要望し続けるしかない。

(校長)

- ・要望は出しているが、解決には至らない。このままというわけにはいかないの
で、ハト対策を考えて試行錯誤して試している。

(柏崎委員)

- ・網を張れない理由があるのか聞いてみたい。

(池上委員)

- ・これは予算がかかるので学校では解決できない。議会と市に依頼するしかない。

(藤沢委員)

- ・我々もここまで努力したと言うことを市に伝える必要もある。

(池上委員)

- ・私の所でも鳥糞問題がある。フン害は大変危険、呼吸器に入ると肺がやられる。

(校長)

- ・毎日教頭先生が掃除しているが、水で流して掃除機で吸い取っても、鳥糞が床に染みこみ臭いがきつい。

(池上委員)

- ・パステルという消毒がある。臭いも消える。

(校長)

- ・アトリウムは広いので、消毒も大変である。

(小島委員)

- ・やはり鳥を入れないことが大事。「網を張る」という発注をして、業者に依頼するしかない。

(藤沢委員)

- ・とりあえず、ボランティアの募集について意見をください。

(池上委員)

- ・ボランティアを募集するなら、マスコミを利用してはどうか。ケーブルテレビなどでも流せるのではないか。下野新聞もすぐに来てくれるはず。

(柏崎委員)

- ・今は、自分たちでできることからやって行くことも大切。

(中川委員)

- ・学校運営協議会やPTAから市に訴えることも必要。

(小島委員)

・我々、学校運営協議会の存在意義もそこにある。石中が困っていることを伝えたい。

(西本委員)

・PTA会長もこの学校運営協議会に入っているので、PTA保護者にも話は伝わると思う。

(藤沢委員)

・石中の引越のボランティアも保護者の方は協力してくれたので、子ども達のためなら今回も協力してくれるのではないかな。

(須藤委員)

・石橋地区の自治会にも回覧板などで依頼できるので、いつでも言ってください。

(柏崎委員)

・主催はどこか。どこが中心となっていくか決めておく必要がある。
緊急的にボランティアを募集して清掃や消毒をやりつつ、将来的には行政に依頼して解決するしかない。この問題の深刻さは伝えないといけない。

(中川委員)

・学校運営協議会・PTA・学校が協力してやるしかない。今の須藤さんの話のように自治会も巻き込んでいくことも大切。

(小島委員)

・リーダーは学校であろう。

(藤沢委員)

・告知方法はどうか。

(小島委員)

・確実なのは回覧ではないかな。

(校長)

・地域の方には回覧板を回し、保護者には学校から通知をだして呼びかけたい。

(小島委員)

・消毒の人数と清掃の人数はどれくらい必要かな。

(教頭)

・消毒は各階3～4名で合計16人程度。鳥糞清掃は道具のこともあるので4人が適当。

(須藤委員)

・告知の通知はインパクトがある紙面を考えた方が良い。

(校長)

・まずは、通知と回覧をやってみたいと思う。

(藤沢委員)

・鳥対策委員会は私の方で考えてみたいと思う。今後また臨時で集まってもらいかもかもしれませんがよろしいですか。

(委員一同) 同意